報道関係者各位
プレスリリース

2026年11月13日
株式会社エス・エム・エス

エス・エム・エス、介護分野の外国人材紹介「カイゴジョブグローバル」提供開始
～国内外の外国人材の紹介から入職後の定着までワンストップで支援～

株式会社エス･エム･エス（本社：東京都港区、代表取締役社長：髙畑正樹、東証プライム、以下「当社」）は、介護分野における特定技能外国人材の人材紹介「カイゴジョブグローバル」の提供を開始しました。各対象国の法令に基づき、送出機関※1や教育機関と連携した人材紹介と、登録支援機関※2との連携による入国後の生活・就労支援をワンストップで提供し、深刻化する介護人材不足の解消に貢献します。



■提供開始の背景
深刻化する介護人材不足。制度整備を背景に、外国人材の受け入れが拡大
国内の介護人材不足は年々深刻さを増しています。必要となる介護職員数は2040年度には約272万人にのぼり、2022年度と比べて約57万人の増員が必要とされています※3。

こうした状況を受け、国は外国人材の受け入れ制度を整備してきました。2019年4月に創設された在留資格「特定技能」は、「深刻化する人手不足への対応として、生産性の向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野に限り、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れる」制度で、介護分野は対象となる19分野の一つに位置づけられています※4。介護分野では、在留資格「特定技能1号」による外国人材の受け入れが拡大しており、2026年8月末時点で在留者数は83,111人となっています※5。

当社は2003年の創業以来、介護職の求人サイトや人材紹介、介護職員初任者研修などのスクール事業、介護事業者向けの経営支援サービスなどを通じて、介護業界の人材確保と経営を支援してきました。このたび、全国の介護事業者とのネットワークと、人材紹介で培った介護現場の理解に基づくマッチングのノウハウを活かし、介護分野の外国人材紹介サービス「カイゴジョブグローバル」の提供を開始しました。

■サービス概要
「カイゴジョブグローバル」は、介護分野で外国人材の採用を検討する介護事業者に対し、人材の紹介と、入職後の定着に向けた支援を提供するサービスです。対応エリアは1都3県から開始し、順次拡大します。

（1）日本国内で働く外国人材の転職支援

すでに日本国内の介護施設等で就業している外国人材の転職を支援します。介護現場での実務経験があり、日本語でのコミュニケーションにも慣れた人材を紹介できるため、外国人材の受け入れがはじめての事業所でも導入しやすいことが特長です。

（2）海外で日本語教育を受けた人材の紹介
まずはインドネシアの教育機関との提携により、現地で日本語教育と介護の訓練を受けた人材の紹介を開始します。介護分野で就業する特定技能外国人を国籍別にみると、インドネシア、ミャンマー、ベトナムが上位を占めており※6、東南アジアは日本の介護現場を支える人材の主要な出身地域となっています。また、特定技能の取得に必要な「介護技能評価試験」「介護日本語評価試験」は海外10か国以上で実施されており※7、現地で日本での就労を目指すための環境も整いつつあります。当社は、介護現場の人手不足の解消と、就業する方一人ひとりのキャリア形成の双方に資する事業を目指します。

（3）登録支援機関を通じた定着支援
在留資格「特定技能」で就業する外国人材については、受け入れ事業者に対して、事前ガイダンス、住居の確保、生活オリエンテーション、定期的な面談などの支援が法令上求められます。本サービスでは、登録支援機関との業務提携により、これらの支援を受け入れ事業者に代わって担う体制を整えます。

■サービスの特長
介護事業者への深い理解に基づく人材紹介と資格取得の支援により、外国人材が日本で長く働き続けるところまで一貫して支える点が、本サービスの特長です。

・全国の介護事業者とのネットワーク
当社は介護領域の人材サービスを通じて、日々の採用支援のなかで各事業者の人員体制や求める人材像を把握し、多くの介護事業者との取引と信頼関係を築いてきました。その関係を基盤に、外国人材の採用を検討する事業者へ人材を紹介するほか、外国人材の採用がはじめての事業者にも、受け入れの進め方を含めて提案します。

・資格取得によるキャリア形成の支援
当社が運営する介護資格取得のためのスクール「カイゴジョブアカデミー」との連携により、介護職員初任者研修・実務者研修から介護福祉士の資格取得までを支援します。介護福祉士の資格を取得すると在留資格「介護」への変更が可能となり、在留期間の更新回数の上限がなくなるため、外国人材にとっては日本で長く働き続ける道が開け、事業者にとっては定着につながります。

■今後の展開
今後は、対象国を順次拡大するとともに、自社で登録支援機関の登録を取得し、人材の紹介から入職後の定着支援までを一貫して自社で担う体制を整えます。海外からの人材紹介についても、提携先を広げながら段階的に拡大していきます。

■事業責任者からのコメント
福祉キャリア事業本部 本部長 塩﨑 雄一郎



介護現場の人手不足は、これから一段と深刻になっていきます。当社はこれまで、人材紹介、ダイレクトリクルーティング、資格取得のためのスクール事業などを通じて、国内の人材確保という側面からこの課題に向き合ってきました。しかし、働き手そのものが減っていくなかで、介護の現場を支える担い手を国内だけで確保し続けることは難しくなっています。日本を選んで来てくださる方が安心して働き、長く活躍できる環境を整えることは、この課題に対する取り組みのひとつだと考えています。

「カイゴジョブグローバル」では、人材のご紹介にとどまらず、入職後の定着支援や、介護福祉士の資格取得までを見据えた支援を提供します。事業所には長く働いていただける方を、就業される方には日本で技能を身につけ、資格を取得し、キャリアを重ねていける道を。その双方が成り立つ形をつくることが、本サービスの役割だと考えています。介護を必要とする方が

増え続けるなかで、現場を支える人材をどう確保していくかは、社会全体の課題です。当社はこれからも、介護業界の人手不足という課題に真摯に取り組んでまいります。

※1：送出機関とは、特定の制度を利用して日本で働きたい外国人を現地で募集し、日本語教育や入国前の健康診断・手続きを行って日本へ送り出す現地の機関。
※2：登録支援機関とは、受入れ機関（特定技能所属機関）から委託を受けて、１号特定技能外国人に対し住居の確保をはじめとする支援を行う機関で、出入国在留管理庁長官の登録を受ける必要があります。受入れ機関は支援計画の全部または一部の実施を委託することができ、全部の実施を登録支援機関に委託する場合には、外国人を支援する体制があるものとみなされます。出入国在留管理庁「特定技能制度」より（ https://www.moj.go.jp/isa/applications/ssw/index.html 制度説明資料「外国人労働者に関する制度概要」－ｐ．12、14より一部抜粋）
※3：厚生労働省「第９期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」（令和６年７月12日公表）より
（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_41379.html 別紙１「第９期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」－ｐ．1より）
※4：出入国在留管理庁「特定技能制度」より
（https://www.moj.go.jp/isa/applications/ssw/index.html 制度説明資料「外国人労働者に関する制度概要」－ｐ．6より）
※5：出入国在留管理庁「特定技能１号の受入れ見込数及び在留者数について（令和８年８月末時点・速報値）」－ｐ．1より
（https://www.moj.go.jp/isa/content/001465883.pdf）
※6,7：厚生労働省「外国人介護人材の受入れの現状と今後の方向性について」
（介護分野における特定技能協議会運営委員会 令和６年度第１回・令和７年３月28日 資料）より
（https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/001478533.pdf ※5はｐ．15、※6はｐ．12より）

【株式会社エス・エム・エスについて】

2003年創業、2011年東証一部上場、2022年4月より東証の市場区分変更によりプライム市場へ移行。「高齢社会に適した情報インフラを構築することで人々の生活の質を向上し、社会に貢献し続ける」ことをミッションに掲げ、「高齢社会×情報」を切り口にしたサービスを開発・運営しています。

名称：株式会社エス・エム・エス

所在地：東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー

代表者：代表取締役社長　髙畑正樹

会社設立：2003年4月

資本金：25億5,172万円（2026年3月31日現在）

従業員数：連結4,660人、単体3,214人（2026年3月31日現在）

事業内容：高齢社会に求められる領域を、医療・介護/障害福祉・ヘルスケア・シニアライフと捉え、価値提供先であるエンドユーザ・従事者・事業者をつなぐプラットフォームとしての情報インフラを構築し、サービスを展開

URL：https://www.bm-sms.co.jp/

【報道関係のお問い合わせ】
株式会社エス・エム・エス PRグループ Mail：smsinfo@bm-sms.co.jp